

# サステナビリティ・CSR ウェビナーのご案内 「SSBJ」を契機とした持続的な企業価値向上のための サステナビリティ情報開示のあり方」

気候変動や人権、地政学リスクなど、企業を取り巻くサステナビリティ課題は、一層深刻化・複雑化しています。国際的にはサステナビリティ情報開示の整備が進み、日本においても、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）による基準の公表を契機として、企業には制度開示への対応が求められています。そのうえで、制度対応に加え、自社の経営戦略や価値創造のストーリーと結び付けた情報開示を進めていくことも、重要な課題となっています。

このような認識の下、（一財）企業活力研究所 CSR 研究会では、2025 年度、サステナビリティ情報開示をめぐる最新動向を整理するとともに、先行企業、投資コミュニティ、保証機関等 23 社への調査も踏まえながら、持続的な企業価値向上に資する情報開示のあり方について調査・検討を進めてまいりました。

この度、調査研究の成果を、本ウェビナーにて公表いたします。ぜひご参加いただけますよう、御案内申し上げます。

■ 日 時： 2026年7月15日(水) 15:30～17:30

■ 開催方法： ウェビナー（ZOOM）※オンラインのみ

■ 参加費： 無料

■ 主催： 一般財団法人企業活力研究所

■ プログラム：

15:30～15:35 開会挨拶

15:35～15:50 基調講演

加賀谷 哲之氏（一橋大学 大学院経営管理研究科 教授、CSR 研究会座長）

15:50～16:05 CSR 研究会（2025 年度）調査研究報告書 概要説明

福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所 専務理事）

16:05～16:20 講演①

「企業価値向上に向けた情報開示」

堀 幸夫氏（SOMPO ホールディングス株式会社 サステナブル経営推進部 課長）

16:20～16:35 講演②

「E-ザイのサステナビリティへの取組みと開示」

南田 泰子氏（E-ザイ株式会社 サステナビリティ部 部長）

16:35～16:50 講演③

「サステナビリティ情報開示の評価と期待 ～投資家、制度・指針設計者の視点より～」

菊池 勝也氏（Co-Create Frontier LLC 代表）

16:50～17:05 講演④

「サステナビリティ時代における企業開示の期待」

松原 稔氏（りそなアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員 責任投資部担当）

17:05～17:30 質疑応答

（ファシリテーター）

富田 秀実氏（一般社団法人サステナビリティ経営研究所 代表理事）

17:30 終了

ウェビナー参加ご希望の方は以下の申し込みフォームからお申し込み下さい。（お申し込み〆切：7/14（火））

申し込みフォーム URL：<https://www.bpfj.jp/seminar/20260715/>



申し込みフォーム QR コード

※お申し込みいただいた方に、ウェビナーご招待 URL をお送り致します。

■ウェビナーに関するお問い合わせ■

一般財団法人企業活力研究所 企画研究部 小西 e-mail: [konishi@bpf-f.or.jp](mailto:konishi@bpf-f.or.jp)

※CSR 研究会の過去の報告書はこちらからご覧ください：[https://www.bpfj.jp/archives/report\\_category/csr/](https://www.bpfj.jp/archives/report_category/csr/)

## ■ 講演者・ファシリテーター プロフィール

### 加賀谷 哲之氏（一橋大学 大学院経営管理研究科 教授、CSR 研究会座長）

2000 年一橋大学大学院商学研究会博士課程修了。一橋大学商学部専任講師、助教授を経て 07 年より大学院商学研究科 准教授。2020 年より現職。専門分野は財務会計、IR、リスク管理、企業価値評価。研究領域は、会計属性の国際比較、無形資産の会計・評価、リスク管理・評価（BCM や情報セキュリティなどを中心に）。研究論文「サステナビリティ開示の拡充とその影響」月刊資本市場（450）4-14 2023 年 2 月等。

### 堀 幸夫氏（SOMPO ホールディングス株式会社 サステナブル経営推進部 課長）

2000 年に安田火災海上保険（現損害保険ジャパン）に入社。営業、内勤部門（内部統制）を経て、2018 年から持株会社である SOMPO ホールディングス（株）にて CSR・サステナビリティを担当。現在は、サステナビリティ戦略の企画、情報開示全般（統合レポート、サステナビリティレポート、SSBJ 開示等）を担当。ESG をテーマとした投資家との対話にも従事。

### 南田 泰子氏（イーザイ株式会社 サステナビリティ部 部長）

イーザイ株式会社 サステナビリティ部 部長、弁理士。知的財産業務に従事した後、経営戦略、PR、IR、アルツハイマー病の新薬上市に向けた環境整備業務を経て、2022 年 5 月より現職。持続可能な社会の実現や長期的な企業価値向上のため、ESG 課題に対する取り組み推進や医薬品アクセス向上に関するイニシアティブの策定・実行などを担う。

### 菊池 勝也氏（Co-Create Frontier LLC 代表）

1989 年大和証券投資信託委託（現大和アセットマネジメント）入社。2013 年まで約 20 年株式運用部門に所属しファンドマネージャーを務める。主として成長株ファンドや SRI ファンドを担当。2013 年に調査部へ異動し金融・医薬品セクターなどをカバーする。調査部長を経てスチュワードシップ活動を担当。2019 年に東京海上アセットマネジメントへ入社しマルチアセットの責任投資を統括。2025 年 4 月に企業と投資家による価値共創のサポートを目指し起業。情報開示や IR 活動の支援、スタートアップ企業のアドバイザーなど資本市場に関連する分野で活動中。元サステナビリティ基準委員会（SSBJ）委員。

### 松原 稔氏（りそなアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員 責任投資部担当）

1991 年りそな銀行入行、以降一貫して運用業務に従事。投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部、アセットマネジメント部で運用管理、企画、責任投資を担当。2020 年 1 月りそなアセットマネジメント責任投資部長、2020 年 4 月より現職。経済産業省「サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会（S X 研究会）」委員。日本国際博覧会協会「持続可能性有識者委員会」委員等参加。

### 富田 秀実氏（一般社団法人サステナビリティ経営研究所 代表理事）

東京大学工学部物理工学科卒。プリンストン大学工学部化学工学修士修了。ソニー株式会社で、2003 年の CSR 部発足当初から統括部長を約 10 年務める。その後、ロイドレジスター クォリティアシュアランス（LRQA）、LRQA サステナビリティ株式会社代表取締役を経て、現職。ISO 26000、ISO 20400、GRI スタンダード、東京オリンピック・パラリンピック持続可能な調達コード等、国内外の規格等の策定に多数参加。

### 福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所 専務理事）

東京大学経済学部卒。1986 年に通商産業省（現・経済産業省）に入省し、2018 年に経済産業省を退官。この間、経済企画庁、外務省、農林水産省、消費者庁や（独）産業技術総合研究所でも勤務。2019 年から、（一財）企業活力研究所の専務理事として、同財団の業務を推進。